

文部科学省「土曜学習応援団」について

この度、文部科学省生涯学習政策局社会教育課 地域・学校支援推進室長が全連退事務局に来局され、標記の件について依頼がありましたのでその概要を報告します。

記

1. 全連退に対する依頼事項

- (1) 文部科学省生涯学習政策局の施策である「土曜学習応援団」に対する賛同と登録の依頼
- (2) 各退職校長会に対して、応援団に関する周知、賛同の呼び掛けの依頼
- (3) 各自治体において、応援団の出前授業等の講師として参加の依頼
- (4) 学校支援地域本部事業の新規事業「地域未来塾」への協力依頼

2. 「土曜学習応援団」に関する依頼事項

<参加の仕方> 出前授業の講師としての参加など

<分野> 自然体験、食育教室、実験・工作、ビジネススキル、文化芸術、学力向上等

<形態> 農業体験、施設見学、屋外での体験活動、等の出前授業

<連携先> 学校、都道府県・市区町村の教育委員会

※具体的なプログラムの実施方法・内容は、連携先と相談の上、決めることとなる。

3. Q&A

Q. 土曜学習応援団になるメリットは？

A. 出前授業等にご協力いただくことで、社会に役立つ人材育成に貢献する中で地域との連携ができ、子供たちが豊かな経験を積むことができる。

Q. 出前授業等の具体的な実施にはどうしたらよいか？

A. 土曜学習の実施主体は、その学校を設置する自治体です。自治体では、教育委員会の社会教育課等の部署が担当します。夏休み中の平日や、平日、土曜日の授業、放課後の活動への出前授業も実施可能です。

Q. 土曜学習応援団になると何か負担がありますか？

A. 協賛金等の負担をお願いすることはありません。できる範囲でご協力をお願いします。

Q. 取組に対する助成措置はありますか？

A. 助成措置は自治体の判断となります。謝金や旅費等が出る場合もありますし、無償でお願いすることもあります。なお、文部科学省では自治体が出前授業の講師等に支払う講師謝礼金等として自治体向けの補助事業を新設しました。(文部科学省の支援は2,200円/時間まで)

4. 「土曜学習応援団」になって、子どもの学びを皆で支えましょう

○学校週5日制を平成14年から実施してから12年が経過し、土曜日を必ずしも有意義に過ごせていない子供たちが少なからず存在します。平成26年度は約40%の学校や学校区で、土曜日に何らかの教育活動を実施中です。

5. 全国連合退職校長会本部としては賛同し登録しました。各退職校長会としては適切かつ自主的にご判断ください。

詳細は、土曜学習応援団ホームページをご覧ください。URL：<http://doyo.mext.go.jp>

文部科学省 「家庭・学校・地域の連携協力推進事業」について

平成27年度予算の予定額 4.882百万円 (補助率 1/3)

<ねらい>

近年、子供を取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子供たちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりを目指す必要があります。

そのため、地域住民や豊富な社会経験を持つ外部人材等の協力を得て、学校支援地域本部、放課後こども教室、家庭教育支援、地域ぐるみの学校安全体制の整備、スクールヘルスリーダー派遣などの学校・家庭・地域の連携協力による様々な取組を推進し、社会全体の教育力の向上及び地域の活性化を図る必要があります。

特に、学校支援地域本部を活用し、中学生を対象に、大学生や教員OBなどの地域住民の協力による**原則無料の学習支援(地域未来塾)を新たに実施します**。また、女性の活躍推進を阻む「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、新たに作成した放課後こども総合プランに基づき、厚生労働省と連携した総合的な放課後対策をより一層充実させます。

<学習が遅れがちな中学生を対象とした学習支援>

～地域住民の協力を得て、「地域未来塾」を新たに開講～

地域未来塾について (本年度の新規事業)

平成27年度予算の予定額 207百万円

(「学校・家庭・地域の連携協力事業」の予定予算額4.882百万円の内数)

中学生を対象に、大学生や教員OBなど地域住民の協力による学習支援を実施

- ◆経済的理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない中学生への学習支援を実施します。
- ◆地域住民が参画する学校支援地域本部の活用により、**原則無料の学習支援**です。
(参加者が一部実費等を負担する場合があります)
- ◆教員OBや教員を志望する大学生などの地域住民、学習塾などの民間教育事業者、NPO等の協力により、多様な視点からの支援が可能です。

学習機会の提供によって、貧困の連鎖を断ち切る

- *学習が遅れがちな中学生に対して学習習慣の確立と基礎学力の定着をめざす。
- *高等学校等 進学率の改善や学力向上を図る。

土曜学習応援団になりませんか？

～全ての子供たちの豊かな学びのために～

皆さんは、土曜日をどのように過ごしていますか？

平成14年度に完全学校週5日制がスタートして12年が経過し、土曜日を活用して、ご家庭や地域では、様々な学習や体験活動に取り組んでいただいていることと存じます。

未来を担う子供たち一人一人の可能性を最大限伸ばし、健やかに育むためには、子供たちが社会で活躍する多くの大人に出会い、将来の夢や志を持って学ぶ機会の充実が必要です。

文部科学省では、子供たちがより豊かに土曜日を過ごすことができるよう、土曜日の教育活動を応援するため、多様な企業・団体の方々の参画を得て「土曜学習応援団」を組織し、実社会での経験や企業・団体の強みを生かした出前授業を行っていただく取組を積極的に推進しています。

「土曜学習応援団」

～土曜日に出席授業等の講師として企業・団体の方が参加している事例～



金融系A社による
グローバル人材を目指す講演



電機メーカーB社による
ハイブリッドカー親子工作教室



掃除用具メーカーC社による
お掃除体験教室

全国では、公立小学校、中学校、高等学校の約40%（約12,700校）において、土曜日の教育活動が展開されています。

また、現在、土曜学習応援団には、約100社・団体のご賛同をいただいています。

- **それぞれの企業・団体・大学等の皆様の豊富な知識・ご経験を子供たちに届けませんか？**
- **是非「土曜学習応援団」へのご賛同と出席授業等の講師としてのご参加をお願いします。**

詳細は、裏面及び文部科学省の土曜学習応援団ホームページをご覧ください。

URL: <http://doyo.mext.go.jp>



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



土曜学習応援団に関するQ & A

Q.土曜学習応援団になるとどんなメリットがありますか？

A 出前授業等にご協力いただくことで、各企業・団体の強みや社員の経験を子供たちに伝えることができ、次代を担う人材の育成に貢献できます。
また、地域との連携ができ、各社の取組に対する理解が深まるなど、企業イメージの向上にもつながります。
なお、出前授業の事例等について、文部科学省よりホームページや自治体への説明会などを選んで広く周知させていただくことも可能です。

Q.土曜学習応援団になると何か負担がありますか？

A 出前授業の講師としてご参加いただいたり、関連団体・支社等への土曜学習応援団のご紹介等をお願いしていますが、ご賛同に際し、協賛金等の負担をお願いすることはありません。
また、出前授業等については、地域や日時等の条件に応じて、実施の可否をご判断いただけますので、できる範囲でご協力をいただければ結構です。

Q.出前授業等を実施するためにはどうしたら良いですか？

A まず、企業・団体の連絡窓口を登録いただきます。学校等からの依頼がありましたら、文部科学省から窓口の方にご連絡し、依頼内容をご確認の上、実施の可否をご判断いただきます。なお、やりとりを重ねる中で、学校等から直接ご連絡することもあります。

<参考>

- ・土曜学習の実施主体は、その学校を設置する自治体。
- ・自治体では教育委員会の社会教育課等の部署が担当。

Q.取組に対する助成措置はありますか？

A 出前授業に係る講師謝金や旅費等をお支払いできるか、無償でお願いするかは、実施主体である自治体の判断となります。
なお、文部科学省では、自治体が出前授業の講師等に支払う謝金等に対して自治体向けに補助事業を設けています。
(文部科学省の支援は、上限2,200円/時間)

【本件担当】

文部科学省 生涯学習政策局 社会教育課 地域・学校支援推進室 鍋島、佐藤、入江、武川
直通：03-6734-3080 FAX：03-6734-3718 Email：doyo@mext.go.jp

ご賛同いただける場合は、以下に記入の上、本件担当まで送付願います。(FAXでもメールでも構いません)

土曜学習応援団に賛同します

ご賛同 団体名	(例) 株式会社文部科学、一般社団法人〇〇〇〇 など
------------	----------------------------

【連絡担当者】今後、本件についてご連絡させていただく方を教えてください。

氏名			
会社・団体名			
役職			
電話		FAX	
E-mail			